

日吉っ子

ボランティア通信

令和6年10月24日 日吉小・中学校区地域学校協働本部発行

★ 川の生き物マイスター ★

9月10日(火)に、学校下の日向谷川で、小学1・2年生が川の生き物について学びました。講師に、鬼北町役場環境保全課の職員の方をお招きし、今回は、町内の泉小学校及び三島小学校の1・2年生との交流学习でした。ふだん、少人数で活動している日吉っ子たちは、この交流学习をととても楽しみにしていました。

川の中には、水をきれいにしてくれるタニシや、きれいな水にいるサワガニなどがいました。最後に、職員の方から「これからも、川を汚さない生活を送ってください。」とお話があり、これからもきれいな川を守っていこうと思った児童たちでした。



★ 鬼北きじ工房見学 ★

9月19日(木)に、小学3・4年生が「鬼北きじ工房」を訪れました。担当の方の案内で、工房内の施設や設備を見学しました。

処理されたきじ肉の身は固いため、2日間熟成させていることや、主要な取引先は、関東方面の旅館であるということなどを説明していただきました。

また、きじは、年中卵を産むにわとりと違って、春から夏の間には卵を産まないのので、2年先のことを見据えて計算をし、数を調整されているそうです。きじを加工して、出荷に至るまでの経営の難しさについても学習しました。

今回の学習を生かして、次回はプロがおすすめする、美味しいきじ料理についてのインタビューを企画しています。御多用のところ、児童たちに分かりやすい説明をしていただき、どうもありがとうございました。



★ 武左衛門一揆の足跡をたどる ★

9月20日(金)に、日吉公民館長の案内で、小学5・6年生が「武左衛門一揆」の道のりを訪れました。バスの中では、武左衛門一揆にゆかりのある場所に近づくと、その場所に関するエピソードを織り交ぜながら説明していただきました。宇和島市内の「八幡河原」に到着し、バスから降りると、一揆の集団が集まった場所であることを教えていただきました。

その後、「安藤神社」にも寄り、指導者の武左衛門だけではなく、吉田藩の末席家老の安藤義太夫嗣明の犠牲と引き換えに、一揆が成功したということも教えていただきました。

専門性の高い館長の説明に、児童たちは熱心にメモを取り、耳を傾けていました。「日吉村」と「吉田藩」のそれぞれの視点から考えることができた、充実した内容の郷土学になりました。



★ 竹灯籠作りの手伝い ★

9月5日(木)に、中学1・2年生が、明星ヶ丘いきいき会の会長宅を訪れて、会員の皆さんと一緒に、「ひよし星降るキャンドルナイト」で使われた竹灯籠作りの手伝いをしました。竹筒に下絵の紙を貼り付けて、その上から電動ドリルを使って穴をあける作業をしました。

電動ドリルを初めて扱う生徒が多く、最初は慣れない手つきでぎこちなく感じましたが、慣れてくるとスムーズに穴をあけられるようになり、予定より早く済ませることができました。その後は紙を剥がし、バーナーで竹筒を炙り、竹の節を抜いて、全ての工程を終えました。初めての体験だったこともあり、生徒たちは終始楽しんで取り組んでいました。

中学校の郷土学の醍醐味の一つは、地域に貢献することです。これからも、地域の思いをくみながら、楽しく活動に取り組んでいきたいです。

